



社会保険久留米第一病院 広報誌

健康 第一

■ 2013 第 27 号 ■



当院の基本理念

地域社会との融和

基本方針

1. 地域社会に特色ある医療を担う。
(女性医療・がん医療・腎臓病・生活習慣病に専門性を発揮する)
2. 利用者が納得する医療を提供する。
3. 心の通う医療を目指す。

施設紹介

『プレジールくるめ』

平成26年4月に“プレジールくるめ”は、社会保険久留米第一病院と共に新しい独立行政法人「地域医療機能推進機構」の一員となります。グループ全体の果たすべきミッションとして、「地域医療、地域包括ケア連携の“要”となれる医療人を育成」し、「地域の抱える医療・介護・福祉諸問題の解決に積極的に貢献する」ことが示されています。

厚労省は日本の高齢化がピークに達する2025年を目標に、「地域包括ケアシステム」と称した地域の保険・医療・介護・福祉をトータルでサポートする体制を構築しようとしています。当施設においても病院とともに、地域におけるこのケアシステムの中核となり、地域と一体となった高齢者ケア、在宅復帰を支援する介護を皆様にコーディネートしていくことがこれからの使命と考えます。

「地域社会との融和」を当施設の理念とし、優しく安全で質の高い介護サービスを提供することが私どもの願いです。今後とも職員一丸となって頑張っていきたいと思えます。

皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



介護老人保健施設
プレジールくるめ副施設長
野村 昌弘

プレジールくるめ 「最近の取り組み」

久留米社会保険介護老人保健施設「プレジールくるめ」は平成8年5月に開設し、今年で18年目を迎えました。今年4月より津田施設長が勇退され顧問となり、久留米第一病院の田中病院長が施設長を兼務することとなりました。また、野村副施設長、入部看護介護部長も新たに就任し、ぐっと管理職が若返り、更に組織のパワーアップを予感させます。

最新のホットな話題は「老健入所定員の10床増床」です。平成24年度から久留米市の老健整備計画に名乗りをあげ公募に参加し、厳正な審査の結果、8月より増床認可されました。これで老健入所定員が90名となり、併せて短期入所生活介護7名、通所リハビリテーション定員45名の事業運営となります。以前からの慢性的な入所待機の解消を期待しつつさらに在宅復帰に特化したサービス提供へ取り組んでいきたいと考えております。



また、昨年より「看取り」に本格的に取り組んでいます。まずはスタッフの外部研修への積極的な参加や施設内研修を幾度も行いスタッフのレベルアップと意思統一をはかりました。さらには、療養棟の個室に併設病院から酸素・吸引ができるようパイピング工事が終了、これによりベッドサイドに酸素ポンペをいくつも並べることなく安心した吸入や喀痰などの吸引ができるようになりました。家族の面会は24時間可能で夜間には簡易ベッドを準備し付き添うご家族へも配慮しております。ご家族への看取りに対する医師の説明も十分に行い、平成24年度には16名の看取りができました。病院での終末期とは異なり、慣れ親しんだスタッフと家族に見守られながらの看取りはこれからの高齢社会における老健の責務と感じています。



看取りに対応した静養室。酸素吸入に対応できるようパイピングを行っており、安心して看取りのできる環境を提供しています。

当施設の特徴は「地域に根ざした取り組み」です。近隣の小学校との交流会をはじめ中学生の職場体験や看護・介護学生の実習生も年間多数受け入れています。定期的で開催されるピアノ演奏会や折り紙教室、お茶会、日本舞踊などの慰問はボランティアの方々のご協力があってこそ続けることができる催しです。当施設でも何か地域に還元し、少しでも役に立てないかと考え動き始めたのが「出前講座」です。

この講座は各小学校区にあるコミュニティセンターに向かいに行きます。居宅介護支援センターが総括窓口となり医師をはじめ看護師、介護福祉士、理学・作業療法士、ケアマネジャー等が少人数のグループでも要望に応じて健康づくりのお役に立てるよう実施しています。

昨年度は市内16カ所で406名の参加がありました。



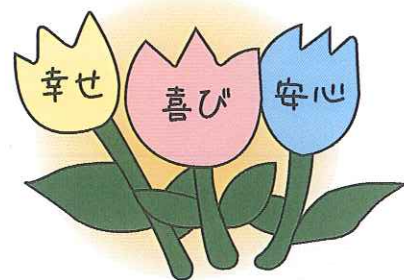
津田 前施設長による出前講座の様子。この日の講演テーマは『高齢化社会がもたらすもの』でした。



この日の出前講座はレクリエーション！地域の住民に介護や医療のことを広く知ってもらうために開催しています。



「プレジール」とはフランス語で“喜び”や“楽しみ”を意味します。名前のおりプレジールくるめを利用するすべての方々へ喜びを提供するとともに、そこで働く私達もその喜びを共有できる楽しみを抱いて日々励んでいます。これからもプレジールくるめをよろしくお願いします。



新診療棟建設
予定地



プレジールくるめ外観。左手奥には健康管理センターと久留米第一病院があります。久留米第一病院は平成26年度の建替えに向け、その準備が進められています。



毎月1回の恒例行事となった『午後のピアノ』。今年は11年目となりました。利用者様をはじめ、久留米第一病院の患者様など多くの方々に参加頂き、慣れ親しんだ曲を合唱したり、演奏したりと楽しいひと時を過ごしています。



プレジールくるめの屋上菜園。職員が業務の合間をぬって丹念に手入れをしています。四季折々の野菜を栽培し、収穫した野菜は利用者様の食事にも提供し、喜ばれています。



託児所『キッズルーム SUNSUN』。久留米第一病院グループの職員が安心して仕事と育児を両立できるように設置しました。利用者様と子どもたちのよきふれあいの場ともなっています。



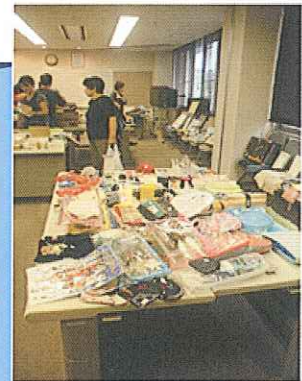
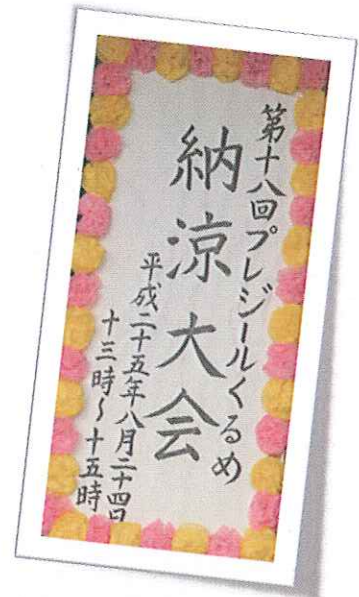
プレジールくるめ「納涼大会」

今年の夏も大いに盛り上がりました!!

去る8月24日に今年で第18回目となるプレジールくるめ納涼大会を大盛況のうちに終えることができました。これも皆様方のご協力があったことです。当日は多くのボランティアの方々にもご協力をいただきました。この日のために選ばれた8人の実行委員が春頃から活動を開始し、皆で知恵を出し合いながらいろいろな催し物を企画しました。メイン会場でのいろいろなイベントやB級グルメの聖地（まち）久留米ならではの模擬店、バザーなど、きっと皆さんに喜んでいただけたことと思います。これもすべては当日お越しいただいた皆さんの“笑顔”のためです。来年もまた、皆さんのかわらない笑顔を拝見できることを楽しみにしています。



久留米市イメージキャラクターの「くるっば」も来てくれました！田中施設長とパチリ。



部門紹介

臨床工学センター

臨床工学部では、3名の臨床工学技士が業務にあたっています。業務内容は、院内医療機器の保守点検や修理および医療機器の運営に係る配置、調整といった医療機器の総合的な管理、医療機器の適正使用や事故防止を目的とした院内教育の実施といった患者安全管理、維持、透析療法ならびに緊急血液浄化療法、自己免疫疾患などへの適応となる特殊血液浄化療法への対応、人工呼吸療法など生命維持管理装置の操作を行う臨床技術提供などです。加えて、院内の医療の質・安全管理について、職種、診療科を越えたさまざまな事柄に関する対応に参画し、質の高い医療の提供を目指しています。臨床工学という専門分野のさらなる追及とともにマネジメントという組織横断的な取り組みを行うことを理念としています。



本田 文子 猿渡 倫治 伊藤 千絵

スタッフ紹介

猿渡 倫治 (さるわたり ともはる)
透析技術認定士 / 公衆衛生学修士

本田 文子 (ほんだ ゆきこ)
第2種ME技術認定士

伊藤 千絵 (いとう ちえ)
第2種ME技術認定士 / 透析技術認定士



部門紹介

診療支援室

医師の負担を軽減するため、平成20年度の診療報酬改定で『医師事務作業補助体制加算』が新設されました。当院も医師事務作業補助体制を導入し、書類作成支援ソフトを使用した診断書・申請書等の作成支援や学会の登録等の事務作業のサポートを行ってきました。

更に、平成24年1月の電子カルテ導入を機に、外来・入院診療業務の支援もスタートさせ、医師をサポートする部署として同年8月に『診療支援室』を発足いたしました。今年9月より診療情報管理部門も併設し、現在、医師事務作業補助者6名・診療情報管理士1名で業務を行っています。私たちの役割は、医師が本来の診療業務に専念でき、患者さんが安心して診療を受けられる環境づくりのお手伝いをする事だと思っています。

そのために、医師とのコミュニケーションを大切に、各部署とも連携を図りながら業務を行っています。業務内容は専門的な知識が必要となりますので、一般社団法人日本病院協会の医師事務作業補助者コースの受講や、その他の勉強会にも積極的に参加し、各自スキルアップに努めています。



各種書類の作成補助

電子カルテ・オーダーリングシステムの代行入力

病院長秘書業務

医局会等の委員会の準備・参加

地域がん・院内がん登録、臓器がん登録(乳がん等)、NCD登録、JSA登録の補助等

医師のスケジュール管理・医局内の庶務業務

私たちは医師の指示のもと次のような業務を行っています



診療科紹介

『泌尿器科』

当科では、主に尿路（腎臓、尿管、膀胱、尿道）と男性性器（精巣、精管、前立腺）の病気ならびに副腎の病気に対して診断・治療を行っております。

排泄や生殖は日々の生活、人生のなかでとても重要なことです。小さなことでも困っている方、悩んでいる方がいれば気軽にご相談ください。久留米大学泌尿器科学講座との連携を図り、ひとりひとりの患者さんにとって最適な医療が提供できるよう努力しています。

また、毎週水曜日の午後には女性泌尿器科医師が女性のための専門外来を行っております。そちらもご利用ください。

当院は専門医教育施設として、日本泌尿器科学会の認定を受けています。

【主な診療実績（最近3年間合計）】

処置	症例数
腎（尿管）悪性腫瘍手術	18
膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的）	83
膀胱悪性腫瘍手術（膀胱全摘）	4
根治的前立腺全摘術	35
経尿道的前立腺切除術	40
膀胱脱手術（メッシュ使用）	26
膀胱水圧拡張術	11
前立腺生検	154
尿管ステント留置	79
腎ろう造設術	7

【骨盤底筋体操教室の様子】



スタッフ紹介

常勤医師



泌尿器科医長
おおにし うれい
大西 怜



非常勤医師



うまだ こうすけ
植田 浩介



もりや ふくこ
守屋 普久子

病院名称の変更について

2014年4月、新機構への移行に伴い

独立行政法人 地域医療機能推進機構 久留米総合病院

に名称を変更いたします。

【日本語表記】

独立行政法人地域医療機能推進機構
(地域医療機構)

JCHO 久留米総合病院

【英語表記】

JCHO (Japan Community Health care Organization)

Kurume General Hospital



新診療棟完成予定図

11月～12月の主な院内スケジュール（予定）

※網かけの項目は患者様対象の教室です。詳細は、ホームページ「教室のご案内」をご参照ください。

日時	内容	講師
11月1日（金）	院内がん看護研修	
11月6日（水）	骨盤底筋体操教室	
11月11日（月） 18時	11月学術講演会 「下関市と下関厚生病院の救急医療事情」について	社会保険下関厚生病院 副院長 森永 俊彦先生
11月11日（月）～ 21日（木）	糖尿病教室 ※16日（土）・17日（日）は休み	
11月18日（月） 17時30分	医局抄読会	
11月19日（火） 17時45分	NST講演会 「実践できる口腔ケアについて」	緩和ケア認定看護師 亀島 美保看護師
11月20日（水）	骨盤底筋体操教室	
11月21日（木）	乳がんこころとからだおしゃれ教室	
11月26日（火）	糖尿病性腎症教室（試食会）	
11月27日（水）	乳腺セミナー	
11月28日（木）	糖尿病セミナー	
11月29日（金）	院内がん看護研修	
12月2日（月） 17時30分	医局抄読会	
12月3日（火） 17時30分	感染管理大会	
12月4日（水）	骨盤底筋体操教室	
12月9日（月）	院内がん看護研修	
12月9日（月）～ 19日（木）	糖尿病教室 ※14日（土）・15日（日）は休み	
12月20日（金）	院内がん看護研修	
12月25日（水）	乳腺セミナー	
12月26日（木）	糖尿病セミナー	
12月31日（火）～1月5日（日）	年末年始休診 ※12月30日（月）は通常診療を行います。	

【糖尿病教室の開催内容をリニューアル予定】

現在、糖尿病チームでは糖尿病教室の開催内容をリニューアルする準備を進めています。

****リニューアル内容****

- ①2週間（10日間）の開催であったものを1週間（5日間）のコースへ変更
 - ②より教育入院がしやすい体制へのリニューアル
 - ③外来通院の患者さんでも参加しやすい教室へのリニューアル
- ** よろしくお願ひいたします ****



糖尿病内科医師
梶島 正治

編集後記

季節がいつの間にか進み、木々の紅葉も秋風に吹かれています。読書の秋、食欲の秋、運動の秋、皆さんはどのような秋を過ごされますか？

近々、当院のウェブサイトがリニューアルする予定です。また病院公式Facebookも開始する予定にしています。是非、アクセスしてご覧ください！！公開は11月末の予定です。

（広報委員会）

社会保険久留米第一病院

〒830-0013 福岡県久留米市檜原町 21 番地

TEL：0942-33-1211 FAX：0942-32-0113

2013年11月発行 発行責任者：病院長 田中 真紀

編集：広報委員会